

国連総会HLW：サイドイベント
「ハイチ治安情勢への緊急的対応」
野口中南米局長ステートメント

おはようございます。

まず、今回のハイチに係る閣僚級会合開催に当たり、ブリンケン国務長官を始め関係者の皆様に御礼申し上げます。

また、サルバドルBINUH代表の活動に敬意を表します。

現在、ハイチは、情勢の安定化に向けた岐路に立っています。武装集団（ギャング）の暴力行為や誘拐等の犯罪増加による、ハイチの治安情勢・人道状況の悪化は、前例のないレベルに達しています。我々はハイチ政府・国民の要請に応え、国際社会の支援を速やかに結集しなければなりません。

日本は本年7月の国連ハイチ統合事務所（BINUH）のマンデートを更新する安保理決議の全会一致の採択を歓迎するとともに、ハイチ政府及び国連事務総長の要請に応え、ケニアがハイチ多国籍治安支援ミッション（MSS）のリード国となる意思を表明したことを歓迎します。

ハイチの厳しい治安情勢に鑑み、MSSの迅速且つ実効的な派遣が重要です。日本としても、MSSの緊急性に応じた然るべき貢献を国際社会と共に検討するとともに、ハイチ、地域そして国際社会の平和と安定のために、武装集団（ギャング）及びその支援者に対する制裁追加を含め、安保理における議論に貢献していきます。

ハイチ情勢の安定化のためには、MSSの迅速な派遣と並行して、ハイチ国家警察（HNP）の能力強化や人道支援が引き続き重要です。日本はこれまでも、同国の厳しい現状に鑑み、ハイチ国家警察共同プログラムへの約3百万米ドルの拠出のほか、コレラ対策や食糧援助等の人道支援を実施してまいりました。

2022年9月以降のハイチ支援のための日本の拠出額は、1千2百万ドルに達します。

日本は、G7議長国及び安保理理事国、また、ハイチの長年のパートナーとして、ハイチの安定化のために積極的に貢献して行く考えです。

ハイチ情勢の中長期的安定のためには、自由で、公平で、透明性のある選挙実施を通じた政治情勢の正常化と、経済の安定等の取り組みも不可欠です。日本は、早期の選挙実施を実現するための、包括的な政治合意達成に向けた対話の進展を期待するとともに、ハイチの経済社会開発の基盤確立に向けた取り組みを引き続き支援してまいります。

終わりに、本会合での議論を通じ、ハイチのみならず地域全体の平和・安定のための協力が一層強化されることを期待します。

ありがとうございました。